

1. センターの運営体制

ボランティア・NPO 活動センターでは、ボランティア・NPO 活動センター委員会、ボランティア・NPO 活動センター会議、学生スタッフ会議、スタッフ会議という4つの会議を運営するなかで、さまざまな事業を教員、職員、学生の三者が進めています。今年度はオンラインでの開催が中心となりましたが、可能な際には対面とオンラインを併用したハイブリット方式で実施しました。対面参加のメリット、オンライン参加のメリットの双方を感じることができましたが、一方で接続のトラブルや、対面参加者とオンライン参加者のディスカッションの難しさなど多くの課題にも直面しました。今後も参加しやすく、充実した話し合いができる会議のあり方について検討していきたいと思えます。

また今年度、センターは設立20周年を迎えました。今後の20年を見据え、センターがより成長していくために何が必要か、現状の課題やそのあり方を考える会議『ボラセンのこれから会議』を今年度より実施しました。

ボランティア・NPO 活動センター委員会 (通称：センター委員会)

教職員で構成される正式な学内組織であるセンター委員会では、センターの運営や各種事業についての審議や報告がおこなわれます。そこに、学生スタッフの代表はオブザーバーとして参加し、学生スタッフが企画するボランティアプログラムなどの企画提案や報告を学生自らがおこないます。

例年は、深草キャンパスと瀬田キャンパスをテレビ会議システムでつないで開催していましたが、昨年度より完全にオンラインでの開催となりました。今年度は計3回Zoomにて開催され、毎回学生スタッフの代表がオブザーバー参加し、企画したプログラムの提案や報告を行いました。

センター委員会では、委員の先生方より、センター事業についてのご意見をいただくことはもちろん、学生スタッフ企画の評価の指標についてアドバイスをいただくなど、学生スタッフの気づきにつながっています。

ボランティア・NPO 活動センター会議 (通称：ボラセン会議)

ボラセン会議は、センター長進行のもと、学生スタッフの企画やセンター事業の審議、報告などをおこなっています。例年は、毎月、深草・瀬田両キャンパスの教室で交互に開催していましたが、今年度は年度内で学内の活動制限レベルが頻繁に変わり、全面オンラインでの開催という事も幾度もありました

が、ほぼ毎月開催する事ができました。

対面での活動が許される際には、感染対策を十分に行った上で、どちらかのキャンパスに集合して実施をしました。合わせてオンラインでの参加も開放し、1人でも多くの学生スタッフが参加出来るように配慮しました。

オンラインでのボラセン会議では、会議に参加している当事者意識を醸成する工夫として、毎回、ブレイクアウトセッションで学生スタッフ同士が意見交換をする時間を設けました。これにより、グループでの話し合いを進行するファシリテーターや記録係、全体での発表者など役割が発生し、発言の機会だけでなく、学生スタッフが自分達でミーティングをするうえで必要となる役割を経験する機会となりました。



学生スタッフ会議 (通称：学スタミーティング)

学スタミーティングは、キャンパスごとに、放課

後や昼休みに学生スタッフ企画やセンターの運営について話し合いをしたり情報共有をしたりしています。

対面での活動が制限されていた時期も、活動を止めないためにオンラインでミーティングを実施しました。オンラインでのミーティングを充実させるためにジャムボードやSlidoなどのオンラインツールの利用に挑戦しました。今では多くの学生スタッフがこれらのオンラインツールを使いこなしています。

このように制限下でも自分達に出来る事を探しながら活動を進める事ができました。以下、各キャンパスの学スタミーティングの工夫点を紹介します。

<深草>

- ・報告のみのミーティングにならないよう、学生スタッフみんなで考え、話合うべきことを議題として出せるようにした。
- ・オンラインと対面を併用し、参加する方法の選択肢を掲示するようにした。
- ・ミーティングがスムーズに進むよう、オンラインの機材などの準備を事前に行った。
- ・参加する方法がオンラインと対面で異なっても、どちらかを孤立させることなく、ミーティングが円滑に進むように配慮した。
- ・幹部からの連絡をミーティングの項目に常設し、情報共有がしっかりできるようにした。



<瀬田>

- ・2021年度から対面の講義が増えたことからハイブリッド形式で行った。オンライン参加者のための準備に時間がかかり、開始時間が大幅に遅れたり、オンライン参加者にとっては対面参加者の声あまり聞こえないなどの課題があったが、回数を重ねていく度に改善していった。
- ・オンラインの活動が続き、フォローシップの低下が進んだ為、2021年度はミーティングの初め

にアイスブレイクを入れるなど、交流促進に努めた。

- ・活動についてミーティングの中で考えるときは、小グループに分かれて意見を出しやすい環境を作った。



スタッフ会議

スタッフ会議は、主にセンター委員会やボラセン会議の前に、その資料や次第の確認を行ったり、センターの事業や運営について話し合ったりしています。これまで、平日の日中に深草・瀬田どちらかのキャンパスで会議をおこなっていたことから、職員の移動が伴い、スタッフが全員参加できないことが多くありました。昨年度よりオンライン化したことにより、全員が参加してのスタッフ会議の開催が可能となりました。

ボランティア・NPO 活動センターのこれからを考える会議（通称：ボラこれ会議）

20周年を迎えたセンターをよりよいものにしていくために、今のセンターの長所や特徴、課題を共有していくために、センター長、副センター長、事務部スタッフによるボラこれ会議を開催しました。

第1回（2021年8月23日）は、センターの長所・課題について、メンバー間の意見を出し合いました。

第2回（2021年11月5日）は、第1回で話し合ったこれまでのセンターの取り組みと、基本構想400・SDGs等を踏まえて、どのようなセンターを目指すかを話し合いました。

第3回（2021年12月24日）では、これまでの議論を踏まえつつ、設立以来見直されてこなかった、センターの「目的」（センター規程第2条）についての修正案などについて話し合いました。

今後こうした機会を通じて、よりよいセンターをめざしていきます。

ボランティア・NPO 活動センター 会議組織図

